

JAL争議の全面解決に向け、 更なる運動強化に邁進しよう！



2024年6月11日、JAL本社前宣伝行動

支える会

発行責任者
柚木康子

大田区羽田3-3-15
デラモタワー202
TEL.03 (6423) 7878

メール
sasaerukai@lemon.plala.or.jp

5月23日都労委斡旋、株主総会に向け JALに解決の決断を迫る取り組み

JAL争議の早期全面解決をめざす実行委員会は、会社の決断を迫る取り組みを主催して行ってきました。

成田空港宣伝強化日の設定

4月26日、5月17日、6月7日をセットし、多くの支援者の参加のもとJALのファーストクラスカウンター前を中心に横断幕を掲げ、旅客に各語のビラを配布しました。英語のビラの取りは良く、頑張れとこぶしを挙げて応援してくれたり、何をしたらいいかと聞いてくれる外国人の旅客もいらつしやいました。

都内キャラバンと国交省前宣伝、JAL本社前宣伝行動

今まで行ったことのない駅でも宣伝行動。ビラの受け取りは良かったです。

◆5月21日 12時〜13時

国交省前宣伝行動の後、各駅での宣伝行動、13時40分〜有楽町JALプラザ前、14時50分〜田町駅芝浦口、16時〜品川駅南口にて宣伝行動。
*品川駅前では破綻の時に早

期退職された元JAL職員の方々数人から話しかけられ、争議の状況を聞くと「応援してます！」とエールをいただきました。

◆6月11日、以下の駅での

宣伝の後、JAL本社前に結集！。14時15分〜水道橋西口、15時30分〜四谷駅麹町口、16時30分〜新宿駅東口、18時30分〜JAL本社前抗議行動。本社前には多くの支援者が結集して本社を取り囲み、50本の幟が翻りました。

5月14日に正式に発足したJAL闘争支援東京連絡会に新たに共同代表となった専修大学兵頭淳史教授から以下のメッセージが紹介されました。

「行動参加者のみなさまのご奮闘に敬意を表します。このJAL争議の勝利は当該の名譽を回復し救済するだけではありません。すべての労働者を励まし、日本の労働運動総体の反転攻勢

へとつながるものです。JAL経営陣の誠実な対応と、解雇問題の公正な解決を、みなさまとともに強く求め、心からの連帯のご挨拶を送ります。」



5月21日 国交省前宣伝行動

6・18 JAL株主 総会報告

6月18日10時からJALの第75回株主総会が有明の東京ガーデンシアターで開催されました。総会前8時半から、土砂降りの雨の中にもかかわらず、多くの支援者が駆け付けて下さり、会場で株主に向けて作成したビラをビニール袋に入

れて支援者と共に配布しながらマイクでもアピール宣伝を行いました。

昨年は争議団、支援者共に誰一人質疑応答時間に指名されなかったため、今年には争議団は動議を出して解雇争議と安全との関わりに触れ、争議解決を訴えました。発言時間は2分であるが、途中から議長である鳥取新社長が遮り続け、これに対して会場から「話させてやれよ!」「がんばれ!」との声があがりました。支援者も他の株主からも安全問題も含めて動議が立て続けに4件出され、質問に答える必要があるとして後半は議長が動議は受け付けなると強行的な態度に出ました。相変わらず女性で指名されたのは15名中1人、しかも動議を出した争議団員のみでした。

解雇争議については担当役員が「会社提案(業務委託)への理解を求めてJH Uと真摯に対応していく」安全問題については、鳥取社長が「安全に対しては私が責任を持って対応するの

で安心して下さい。」と何回も発言したものの、株主から具体的にでない」と批判の声がだされました。

《争議団員の発言》

解雇争議は13年半。ベテランを中心に165名が解雇されたが削減目標はパイロットは約270人、客室乗務員は約470人の超過達成をしていた。JALはこの数字を法廷で一切明らかにせず、裁判所も人員削減が達成していることを求積明しなかった。2012年から新人の採用を始めた。これまでパイロットは600人以上、客室乗務員は6700人以上が採用されているのに争議団の中からは一人も再雇用されていない。必要のなかった解雇であると訴えてきた。私は御巢鷹山の事故の時、労働組合の役員をしていたが、今の状況はその時の職場の状況と酷似している。この解雇問題がJALの安全文化を損なっていることを痛感している。職場の安全文化を再構築するためには解雇争議を解決して下さい。

《支援者株主の発言》

Aさん・赤坂会長に退任を動議する。安全より取締報酬が優先している。事故で飛行機1機が全損しているのに、1ヶ月も経たない内に羽田で新機種の新レモニーを行った。事故を起こして乗客に謝るのも社員にさせ、本来なら代表が頭を下げるのが人の道。安全について、70年代から数々の事故を見てきて、御巢鷹山の事故現場に10回以上も行き、事故の怖さを一番知っている山口宏弥機長が会長になれば安全であり、不当解雇も解決できる。(会場内拍手多数)

Bさん・更生法の折には1000万の株が紙切れになった。その後、解雇争議の支援に携わる中で、新たに1000株を当時400万で購入したが、昨日の株価は2462円/株。これは争議の影響が出ているとみている。株総招集通知の1頁に鳥取社長の就任挨拶が掲載されているが、その中に「安全・安心」の取り組みが一字もなく、27頁によ

うやく出ている。「人権の尊厳」も28頁に。平和産業の軽視ではないか。自民党から共産党までの24名の国会議員がJALの解雇争議は人権問題・人道問題であると早期解決を求めている。争議解決に剰余金を充てて下さい!



6月18日 JAL株主総会前宣伝行動

東京都労働委員会報告

3月19日の幹旋期日2回目、JHUは労働委員会に対し、解決に向けた具体案(原職復帰、解決金、謝罪について)を提示しました。労働委員会は日本航空に組合案を提示し次回まで持ち帰り検討するよう要請し、

会社は了承しました。しかし、5月23日幹旋期日3回目、日本航空は対応できないとゼロ回答を示しました! 幹旋を了承したにもかかわらず解決しようとしないうちは全く不当です! 争議団は会社が解決を決断するまで更に運動を強化していく決意です。

今後の取り組みには是非御協力をお願いします!
次回都労委幹旋期日4回目
8月28日10時

羽田空港衝突事故を振り返る4・11緊急院内集会報告

4月11日、衆議院第一議員会館の多目的ホールで、1月2日に羽田空港で起きた航空機衝突事故を振り返る「緊急院内集会」が開催されました。事故は様々な要因が重なって起きます。なぜ防げなかったのか、何が問題だったのか、再発防止のために何が必要なのか。各航空労働者の立場から振り返りました。

集会には超党派の議員や秘書の方々(自民、立民、社民、沖縄の風、共産、無所属)を

はじめ、沢山の方々が参加されました。

管制官である佐藤さんは「管制官の業務実態や機材増の一方で増えない人員体制、国会における管制官を巡る議論等」、パイロットの立場から山崎書記長は「事故調査のあり方と事故の概要・背景、JAL機側から見える最新鋭機の落とし穴等」、客室乗務員の立場からは宝地戸副委員長が、「奇跡的な脱出の一方で明らかになった3つの問題点、解雇後も続くJALの労働体質等」の報告・問題提起を行いました。

その後国会でも取り上げられ、客室乗務員のドア数に満たない配置の改善、管制官の人員増については前進がありました。



四国キャラバン報告 6月18日～21日

全国一律最賃¥15000を実現する実行委員会とコラボして行う今年で5回目となる四国キャラバン。これまでで最高の参加者を得、カンパも沢山頂きました！以下長い暑いキャラバンの報告です。

6月18日 香川県高松市。13時～労働局交渉、15時～三越駅前街宣。パイロット争議団の演説に聞き入っていらつしやった年配の女性が「皆さんは社会をよくしようとしていらつしやるのですね！」と1万円のカンパを下さいました！。18時半～学習報告会と交流会。

6月19日 徳島。10時半～自民党衆議院議員・山口俊一氏（最賃議連）事務所へ初めて要請。11時～連合徳島要請、13時半～労働局交渉、15時50分～徳島駅前街宣。徳島の暑さは半端ない。徳島駅前ではいつも靴底が溶けそうになる。18時～支える会第10回総会と交流会。

6月20日 高知。12時半～地元の反原発宣伝に合流。13時半～労働局交渉、15時～自民党衆議院議員・中谷元氏事務所要請。16時～連合高知要請、15時50分～ひろめ市場前で街宣。18時半～報告集会と交流会。集会には5歳で飛行機大好きなミレイちゃんも参加。今キャラバンで最年少。今日も1日、たくさんの方々と出会い、元気をいただいた。

6月21日 愛媛松山市。13時～労働局交渉、14時半～大街道口で街宣。15時過ぎ～参議院議員・永江孝子氏事務所要請。16時半～報告集会と交流会。集会には初参加の方も多く、最多の参加者数となりました。各県とも所属のナショナルセンタ―を超えた仲間が参加して下さり、労働戦線の広がりを感じます。

JAL争議団は、キャラバンを通じて、インシデントの多発がベテランの解雇と大きく関わっており、争議解決が安全運航の確立のために不可欠であること、経験を伝承していくことの大切さを訴えました。

*各地で御協力いただいた皆様、本当にありがとうございます！争議団も気持ち新たにし、納得いく解決まで頑張ります！！

(愛媛在住争議団 林 恵美、大池 ひとみ)



6月21日 愛媛集会

《各地の取り組み》

2024年4月大森駅前宣伝行動

現在都内の各地域で毎月宣伝行動を取り組んでいます。南部ではJAL不当解雇撤回南部連絡会（仮）の主催により、いろいろな駅で宣伝を行っており、4月は大森駅前でした。御参加いただいた東京清掃労組の組合員の連帯挨拶を以下に御紹介します。

「ご通行中のみなさん、こんにちは。東京清掃労働組合の組合員です。」

私からもこの闘いについて、連帯の意を込め、ひとこと言わせてください。私はこれまで、この日本航空の解雇争議を知りませんでした。ある時、どういふものか話を聞いたら、長年、日本航空で働いてきた人たちが165人が、思い当たる理由もなく、ある日突然クビにされたということでした。しかも、そんな整理解雇をしておきながら、そのちに、大量の新規採用が行われたそうです。こんな私でも「なんですか？」って思いますし、もし私が同じことされたら「冗談じゃない！」って、そりゃ怒りますよ、誰だって怒りますよ。

危険が伴う現場での仕事において、その安全性や仕事の質を維持しようとした場合、絶対に必要なのは、長い年月をかけて培われた経験と知識、いわゆる「現場ノウハウ」です。私たちの職場もごみ収集という現場での仕事なので同じことが言えます。なのに日本航空は、165人という多くの経験豊富なベテランを解



雇して、いったい安全性や仕事の質をどう考えているのか、私は不思議で仕方ありません。
この解雇を撤回させる支援は、ここ東京をはじめ、全国でも目を増すごとに広がっていると思います。でもそれは当然だと思えます。だって、そもそも解雇する必要がなかったんですから。解雇がチラついていたらいい仕事なんかできません。解雇を自由にさせないためにも、おかしいことはおかしいと言えるためにも、この日本航空における解雇は撤回させなければなりません。私も自分の職場で闘います。ともにがんばりましょう！
ありがとうございました」。

空の安全とJAL争議の全面解決を支援する茨城の会 (茨城の会)

昨年12月16日に結成された茨城の会は精力的に活動をされています。

今年2月に水戸、4月につくば、6月に筑西と3地区本部を結成し、県内政・議員要請を行っています。

宣伝活動は4月に水戸、5月につくば、6月に水戸、7月に水戸で計画し実施してきました。

6月16日には水戸駅南口ペDESTリアンデッキで宣伝行動を行い、多くの支援者とJHU組合員とで成功させました。

当日は各政党の県議会議員や役員、ユニオン、婦人団体からも連帯挨拶がありました。宣伝行動終了後は会議を開催し、反省会と次回以降へのアイデアを出し合いました。

会員は第1次目標数にすでに達成する勢いだそうです。機関紙は1月・3月・5月と二ヶ月単位で発行しPCのない会員には手配りか郵送で周知徹底し行動前

段には事務連絡をされているそうです。
次回の宣伝行動は8月25日16時水戸駅南口で予定されています。



《各地の取り組み2》



2024年4月18日四条烏丸宣伝行動



2024年5月18日東京連絡会結成総会



2024年5月17日成田空港宣伝行動



2024年4月20日名古屋駅前宣伝行動



2024年6月27日小倉駅定例宣伝行動



2024年5月27日横浜駅宣伝行動



2024年5月20日浦和駅東口宣伝行動